

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 社会医療法人社団十全会		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0804 岡山市北区中井町2丁目5-1	
本票作成	部署名：事務部 設備担当				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	循環器を主とした急性期病院				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	心臓病センター榊原病院		岡山市北区中井町2丁目5-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度		～	令和 7 年度		(2 箇年度)				
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準				2.0 %				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)				目標年度 (令和 7 年度)					
	2,289 t CO ₂				2,243 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量						
	①	心臓病センター榊原病院		2,289 t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

当院のエネルギー使用は、主に①空調設備 (冷暖房) と②医療機器が大半を占めている。
 ①主要の熱源機器のエネルギー使用量は、外気温度によって大きく影響を受けるため、季節ごとに運転時間や風量を管理を行うことで省エネを図っている。
 ②医療の高度化に伴って医療機器の増加や消費エネルギーの増加傾向にあるが、可能な範囲で省エネルギー機種を選定するなど、CO₂排出量の低減に努めている。
 ③委員会を中心に積極的に省エネに取り組んでいる。

【目標削減率達成のための推進体制】

エネルギー管理に伴う統括者・企画推進者を選任、またエネルギー管理員2名選任活動の中心である「環境委員会」へ企画推進者の選出・効率的なエネルギー管理を遂行する。過去のエネルギー使用量を季節・時間帯など要素を取り入れ、管理の見直しを随時行う。環境委員会では、エネルギーの削減・業務効率を中心に活動し、定期的な院内ラウンドを実施している。電気使用量を部署ごとに公表し、省エネ活動を啓蒙。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
心臓病センター榊原病院	(平成31年度実施分) ○窓に遮熱フィルムを取付け(空調負荷の低減を図る) ○プール床暖房のグループ停止(11,336kWh 7.0tCO2) ○プール床暖房の間欠運転(11,563kWh 7.0tCO2) ○放射線64列CTを80列CTに更新(30,000kWh 19.0tCO2) (令和2年度実施分) ○電動機器更新時トップランナーの採用(2台導入) ○中央材料室電気式ボイラーの適時運転導入(3,456kWh 2.0tCO2) ○温室効果ガス排出量が少ない電気事業者に変更(687.0CO2) ○据え置き型電気温水器停止による節電効果() ○プールろ過装置 昇温用3方弁の制御見直し(1,600kWh) ○電気室のPAC冷房設定温度見直しによる節電(計量器なし) ○外気処理調整機の凍結信号(3℃→0℃)へ変更 ○温室効果ガス排出係数が低い電気事業者へ変更(F-Power) (令和3年度実施分) ○エネルギー効率を低下させないためのメンテナンスの徹底 ○ノイズカットフィラメントの導入(効果不明) ○高効率ヒートポンプ給湯機の制御見直し(-18,040kWh 6.5tCO2) ○雨水滅菌装置の季節制御の追加(-2,860kWh 0.103tCO2) ○温室効果ガス排出係数が低い電気事業所への変更(関西電力) ○プール床暖房運転時間調整(-2,600kWh 0.094tCO2) ○生化学検査機器の更新(-16,800kWh 6.0tCO2) (令和4年度実施分) ○エネルギー効率を低下させないためのメンテナンスの徹底 ○外調機運転時間の見直し(-21,420kWh 6.4tCO2) ○プール室換気回数適正化による省エネ対策(1,923kWh 0.6tCO2) ○プールろ過装置運転時間見直しによる省エネ対策(9,646kWh 2.9tCO2) ○外調機運転時間短縮による省エネ(5,963kWh 1.8tCO2) ○E棟マニホール系排風機の運転制御の見直し(6342kWh 1.9tCO2) ○外調機の加湿制御、加湿水の冷却によるロスの改善(計測不可) ○薬品を取り扱う給排気運転時間の見直し(13,903kWh 4.2tCO2) ○HF32蛍光灯器具のLED化(防災センターのみ)(234kWh 0.1tCO2) ○病室トイレ温度設定変更による節電(5566kWh 1.7tCO2) (令和5年度実施分) ○E棟1F電気室の空調制御見直しによる節電(996kWh) ○オーロラビジョン更新に伴う消費電力削減(3984kWh) ○厨房空調バランスの適正化によるエネルギーロスの低減(計測不可) ○階段照明の点灯時間変更により省エネ対策(2585kWh) ○職員更衣室の照明センサー調整(432kWh) ○冷水2次ポンプ2号機の制御不具合改修による省エネ(20400kWh) ○プール床暖房の一部停止による省エネ対策(1812kWh) ○R棟1F一般WC系統排風機運転制御の見直し(タイマー回路化)(3232kWh) ○熱源冷水ポンプのインバータ周波数制御の最適化(13500kWh) ○雨水滅菌装置のフルシーズン スケジュール停止(2121kWh) ○24時間運転排風機(手元)の運転制御の見直し(タイマー制御)(6211kWh) ○リハビリ棟2Fテナント(自動販売機)給気FAN停止(422kWh)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
心臓病センター榊原病院	(今後実施予定分) ○屋外サイン タイマー制御による節電 ○病理検査室系統外気処理エアコン(OPAC)の夜間停止 ○プール床暖房の停止期間変更による省エネ対策 ○サーバ室の電源系統の見直し(小型UPSの撤去) ○温室効果ガス排出係数が少ない契約への切り替え検討 (継続)電動機器更新時のトップランナー製品の採用 (継続)LED照明の導入(順次) (継続)太陽光パネルの設置検討

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

--